

蓑 洋子さんは、長年放課後児童クラブの指導員を勤めていましたが、70歳の定年を機に、4月から富来こども園で調理補助の仕事に就きました。以前の幼稚園で調理員だった経験を活かし、富来こども園の「『蒸しパンなどの手作りのおやつ』や『地元食材を使った塩分少なめの給食』を温かい内に提供する」の方針に貢献し、食育学習では、みそ作りを園児に教えました。また、40代から始めたジョギングでは、3年前にホノルルマラソンを完走するなど、運動好きが地元の国東町葦蓑地区でも知られており、保健推進委員を任せられています。

洋子さんは、「今の仕事は、給食を通じて子ども達の成長に関わることができる上に、美味しそうに食べる姿を見られることに喜びを感じています。また、



地区の健康サロンは、体操やゲームを和やかな雰囲気楽しんでるので、参加の範囲をもっと広げていけるように啓発活動に力をいれていきたいです」と話していました。

みの
蓑よう
こ
洋子さん

社会福祉法人 海雲福祉会
富来こども園(国東町富来浦)



人にスポットをあてる

輝きひと Vol.12

田口 幸子さんは、愛犬に低脂質で栄養素の高い鹿肉を与えたいと思い、知り合いの猟師から譲ってもらっていました。その後、平成24年12月に銃の狩猟免許を取得し、自分でも鹿を獲るようになりました。また、保存用に作ったジャーキーを、東京のペット関連イベントで販売したところ、愛犬家の鹿肉に対する注目度が高いことを知りました。そこで、平成26年5月に「TAG-KNIGHT」を設立し、口コミやふるさと納税で徐々に注文が増えていきましたが、出荷を待ってもらう状態が続きました。そこで、昨年からは猟師仲間と一緒に働いてもらい、たくさん鹿肉を貯蔵できる冷蔵庫を設置したことで解消することができました。

幸子さんは、「今の目標は、昨年5月より設立された『国産ジビエ認証制度』に県内初認証され、安全・安心なジビエ加工施設であることを証明してもらうことです。そして、4月から加わる地域おこし協力隊と一緒に、安全で良質なペット用鹿肉の認知度をさらに広げていきたいです」と話していました。



第一次産業編

た
ぐちさち
こ
幸子さん

タグ ナイト
TAG-KNIGHT(国東町鶴川)



左から田口幸子さん、猟師仲間の野回望美さん



うえ の **植野** りょう **涼** さん
国東高等学校双国校 生徒会



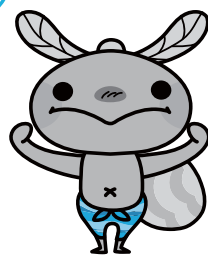
かわ の **川野** りょう **良司** さん
川野酒店(安岐町下原)



左から川野良司さん、妻の春美さん

植野 涼さん（2年生）は、先生達の指導が生徒一人ひとりに行き届き、多くの資格が取れ就職に有利となると考え、国東高校双国校に進学しました。入学後に徹底されたのは、ワンストップあいさつとお辞儀の角度や時間を全校生徒が同じ様に行えるようにした「スクールマナー」でした。当初は、戸惑うこともありましたが、自然にできるようになりました。そんな姿が目にとまり、先生の薦めで11月から生徒会長になりました。生徒会では、毎月の全校集会の運営や登校あいさつ運動の声かけなどを行っています。

涼さんは、「スクールマナーを習得するまでは、あいさつする時に身構えてしまうところがありましたが、今では町内で地域の人と会っても、自然にあいさつすることができるようになりました。生徒会として、『双国生のあいさつ』が素晴らしいと地域の人に感じてもらい、市内中学生に憧れられるよう、あいさつ運動に取り組んでいきたいです」と話していました。



各分野で光を放っている

★ **国東の**

川野 良司さんは、母ハツエさんが一人で切り盛りしていた川野酒店を支えるため、高校卒業後に一緒に働くようになりました。50年経った今もお店の主力はお酒で、市内の酒造所を中心に、日本酒や焼酎などを豊富に揃えています。お店が忙しい時も、商工会でイベントの開催をしたり、地元で行われる川舟祭などに長年関わってきました。また、空き瓶の回収やお酒の配達など地域の方から気軽に頼まれ、お中元などでお酒を贈る際、品物選びの相談を受けることもあります。

良司さんは、「現在改修している港橋の工事のため、お店に寄り付き難くなっています。しかし、地域の方達は、今までどおりお店に通ってきてくれているのは、今まで築いてきた信頼関係があるからだと感じています。改修工事が終わる3年後も、今と変わらず地域の人と関わりの深い店で在り続けたいと考えています」と話していました。

